

令和 6 年度第 1 回 旭川市奨学生等選考委員会 会議録（要旨）

- 開催日時
令和 6 年 7 月 9 日（火） 午後 6 時～午後 6 時 5 0 分
- 開催場所
旭川市総合庁舎 7 階 多目的室
- 出席委員（5 名）
郡司委員長，小林委員，増子委員，増永委員，八楸委員
- 欠席委員（2 名）
大熊委員，小山委員
- 事務局（5 名）
子育て支援部 向井部長
子育て助成課 田上課長，佐賀補佐，佐藤補佐，松田
- 傍聴者（0 名）

1 開会

2 子育て支援部長挨拶

3 新任委員の紹介

退任委員の後任となった委員 2 名の紹介

4 副委員長の選任

委員互選により，大熊委員を副委員長に指名

5 議事

（1）令和 6 年度育英事業概要及びスケジュールについて（報告）

事務局より「資料 1 育英事業概要（令和 6 年度）」，「資料 2 育英事業スケジュール」について説明

委員から質問なし

（2）令和 6 年度旭川市奨学金及び入学仕度金の選考基準について

事務局より「資料 3 奨学金及び入学仕度金貸付対象者選考基準案（令和 6 年度）」について説明

委員から質問なし

事務局案どおりで承認された。

(3) 令和6年度旭川市給付型奨学金の選考基準について

ア 給付型奨学金（高校）の選考基準について

事務局より「資料4 旭川市給付型奨学金（高等学校等）選考基準」について説明
委員から質問なし
条例，規則に定めのある現行どおりで確認された。

イ 給付型奨学金（大学等）の昨年度の選考基準及び国の制度概要について

事務局より「資料5 給付型奨学金(大学等)の選考方法について(令和5年度選考)」，
「資料6 「加速化プラン」による施策の充実（文部科学省資料一部追記）」について説明
委員から質問なし

事務局より「資料7 給付型奨学金（大学等）の選考基準の見直しについて」について説明

（委員A）

成績要件の配点の見直し方法，間隔を2倍という内容を詳しく説明願いたい。

（事務局）

昨年度の評定平均5.0と4.9の点数がそれぞれ30点，29.4点であり，その差が0.6点となっている。これを2倍，1.2点間隔で配点し直したものの。

評定平均5.0を30点としたままで，評定平均4.9だと28.8点，それ以下の評定の配点が下方修正されるような形としている。

（委員長）

まず，申請要件については，現状どおり，学習成績概評のA評価でもある，成績要件4.3以上ということによろしいか

（各委員）

異議なし

（委員長）

続いて，選考要件及び配点割合の見直しについて，事務局より案1から3のパターンが示されたが，この成績要件の採点の間隔を調整する方向で検討を進めてよろしいか。

（各委員）

異議なし

（委員長）

見直しの方向性として，現行のままか，小幅な変更，成績要件を優先ということが考えられる。各委員よりご意見を伺いたい。

(委員B)

昨年度の結果を見て、成績が優秀な方がかわいそうな状況である一方、家庭状況が困難なところにも対応できる制度がよいと思うので、案1あたりがちょうど良いところと考える。

(委員A)

案1がいいところかと思う

(委員C)

案1がバランスが良いと思う。

(委員長)

案1という意見が多数を占めているものと思いますので、委員会としては案1ということで事務局に回答したいと思いますが、よろしいでしょうか

(各委員)

異議なし

(委員長)

次に、国の制度拡充への対応について、各委員よりご意見を伺いたい。

(委員C)

先ほど成績要件と家庭状況のバランスを見ていくこととなって、成績要件も重視する方向になったかと思うが、加点対象が増えることによって家庭状況の配点も高くなると思う。この事務局案で進めたとしても、案1のようなバランスがとれるという理解でよろしいか。

(事務局)

基本的には家庭状況の配点が底上げされる方向になるが、分布が大きく変わるものではないと考える。

(委員B)

上の兄弟について、国の制度適応等、確認可能か。

(事務局)

申請内容で確認は可能である。

(委員長)

他にご意見なく、異議もないため、事務局案どおりでよろしいか。

(各委員)

異議なし

6 その他

特になし

7 閉会